



千葉労働新聞

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

93.9.28 No. 3864

動労千葉結成15年を迎え、今秋-年末闘争軸に

新たな闘いに立ちど

第20回定期大会 大成功がもたら



総括答弁を行なう中野委員長(9・26笠森保養センター)

※「政治改革」―小選挙区制問題は、日本がはつきりと戦争政策へ進んでいることを示していると思う。ここを踏まえた運動をしなければならぬと感ずる。

政治問題

質疑で出された主な質問・意見

第二〇回定期大会は、初日の提起に踏まえ、二日目、来賓として長谷川英憲前都議よりあいさつを受けたのち、一括質疑に入った。

※細川連立政権に対する対応として、自民党政権よりは、ましなのではないかと思っている。素朴な疑問として全面的否定の立場をとるのはいかがか？

※社会党が小選挙区制に賛成するという状況のなかで、今後の政党支持についてどう考えているのか聞きたい。

明日地区労センターの最後の役員会がある。九月二二日、県労連センター解散という中で、千葉労組会議の下部組織として残るのか、解散するのか、他組合と交流する中で運動を進めてきたことなど、どういう考えを持っているのか？

※細川連立政権の発足で、ちよつとは世の中変わると見ていたが、今日方針書を読んで真実が見えてきた。動労千葉が労働組合たるゆえんを実感した。

※安房地区労事務局長として活動してきたが、残念ながら一〇月九日解散となる。その点で今後の政党支持の問題もあり、これからの地区労運動等のあり方について、どのようなしたらいいのか聞きたい。

※普通列車体系の再構築というところで、947D・952D久留里〜亀山間廃止となっているが、その調査をした期間が試験期だったということがある。又、夜間はタクシーもいなくなってしまう。内勤の日勤化提案では、夜間亀山に作業が集中することになる。

※「時短」で当直に夜間空白時間ができるから、休養室に電話をつけると言っているが、異常時にそんなことで対応できるはずがない。

合理化、「ダイ改」問題

※外勤を別としても、士職の削減数が一八名で、さらに労働強化になることは明らかだ。Bダイヤを見なければ具体的にわからないが、闘いの体制を組むしかない。十月二三日から総武快速線でATSPが使用開始となる。取扱上の問題が予想されるので、細かく調査したい。

※列車設定や入換の変更など、各駅には様々な計画がどんどんおりにある。しかし、運転関係には全く何もおりにこない。支社の運輸部の対応はどうなっているのか？

※「時短」で当直に夜間空白時間ができるから、休養室に電話をつけると言っているが、異常時にそんなことで対応できるはずがない。

※松田社長の一人人体制保守合理化発言に憤りを感じる。今後の検修体制はどうなるのか？登用差別されている組合員が十名程いるが、限定免許についてどういう考え方をしているのか？「時短」によって、月々二〜三日穴が空く派手へ、幕張から要員を持っていくという話があったがどうか？

※九月二二日、「一二・ダイ改」の労働条件が提案されたが、その中に、JC検見川浜店の京葉企画への移管＝出向など、今までにない考え方が入っている。これからこのことを考えた時、どういう取り組み、闘いを組んでいくのか？※要員が逼迫している中で、売店において一名病欠が出たことにより、駅長裁量で勤務時間・業務内容を変更して、店舗を営業していくというところを行なっている。こうしたことを許した場合、次々と裁量

当面するスケジュール

- 清算事業団控訴審闘争 9月30日、11時30分から
- 90・3スト支配介入地労委闘争 10月6日、10時から

において変更されていく突破口となる。絶対にさせない闘いを組むべきだ。

※JＣ出向問題等、今次ダイ改提案における問題点につき、営業分科会の役員会を早急に開き、論議し、方向性を出していきたい。

・原職奪還・配転問題

※強制配転者の原職奪還の展望を出して欲しい。又、その道筋確立を大会を期して作っていききたい。
※強制配転者は解雇者の姿を見て、頑張っている。

※津田沼では、この数年間で四〇名にも及ぶ不当配転攻撃を受けた。「聖域化」工作の中で、十月中にはまた一三名が運転士に登用される状況であり、配転問題がかかってくる可能性がある。これに対してどう闘っていくのか、その方向性を聞きたい。

・出向問題

※私は五五才ということで、強制出向のような形で出向に出されたが、出向先の状態は当局が言うようなものではない。又、出向先会社の社員でも五五才で賃下げなどということとはされていない。

※高齢者対策では、五五才以上の労働条件の確立、六〇才まで働けるように取り組むべきだ。又、現在出向している組合員の労働条件についても、出向協議会とともに闘いを進めたい。

※貨物の場合、五五才以上でも乗

務員は現場に残れるが、地上勤務の場合は現場に残れる方法がないのではないかと危惧している。

・スト権について

※スト権一票投票について、全組合員の意思を結集させる意味からも全員で行なうてはどうか？

※支部組合員から選挙で選出された各代議員であるので、大会において行なうた方がいい。

※スト権一票投票について、原則は全員の方がいいとは思いますが、営業では、県内各個バラバラとなっている状況もありできないというのが現状だ。

・貨物関係

※「時短」について、要員が逼迫しているということで一交動は進めようがないという現状がある。現在でさえ年休消化さえできない要員配置の上に、来年四月から一週四〇時間ということになれば、変形勤務という危惧を持っている。新小岩には新採を配置しないということもある。真の時短を目指したい。

※現場では格差に対する不満が充満している。会社間格差がなくなるように闘いを進めてもらいたい。又、貨物協議会でも議論しているが、昇進試験が差別・選別の対象となっていて、定数制度を指すべきだ。

※ストライキの減額保障では、生活給ということも含め早めに保障

してもらいたい。

※基地統廃合という攻撃の中で、佐倉としての基地としての今後の展望を出してもらいたい。来年とも言われている動乗改悪・ダイ改の動向はどうか？

以上要約であるが、活発なうえにも活発な議論を通し、最後に本部・中野委員長の総括答弁を経て、全体の意思統一がなされた。

定期大会に二〇〇名が結集！

新役員選出後、大会宣言発表、議長団解任、会場を揺るがす組合歌合唱を行い、われわれは、当面する「一二・一ダイ改」合理化阻止闘争、「政治改革」攻撃の打破へ全力で決起する。

全組合員は新たな闘いへ起とう！



「12・1ダイ改」阻止へ決意も新たに団結ガンパロー (9. 26)

一九九二年度役員体制

役職名	氏名	年令	支部
執行委員長	中野 洋	五四	千葉運転区
執行副委員長	布施 宇一	五一	千葉運転区
書記長	田中 康宏	三八	津田沼
執行委員	水野 正美	五七	勝 浦
執行委員	山口 敏雄	五七	千葉運転区
執行委員	白井 敏行	五〇	千葉運転区
執行委員	滝口 誠	四九	総 武
執行委員	高石 正博	四八	津田沼
執行委員	赤羽根直男	四八	館 山
執行委員	佐藤 博	四五	総 武
執行委員	清水 匠	三九	佐 倉
執行委員	山田 雄一	三七	幕 張
執行委員	川崎 昌浩	三四	津田沼
執行委員	大竹 哲治	三四	新小岩
特別執行委員	内山 等	四七	千葉運転区
特別執行委員	小倉 邦夫	四五	千葉運転区
特別執行委員	外山 義章	三五	京 葉
特別執行委員	後藤 俊哉	三三	千葉運転区
特別執行委員	佐藤 正和	三三	新小岩
顧問	中江 昌夫	六四	OB会
会計監査委員	佐久間英雄	五一	木更津
会計監査委員	中村 正巳	四五	勝 浦
会計監査委員	山倉 廣一	四三	新小岩